

第16回 大学教育研究フォーラム

プログラム

2010.3 / 18 THU · 19 FRI

会場 京都大学 吉田キャンパス

- ◆個人研究発表・小講演・ラウンドテーブル企画：1号館・総合館（吉田南構内）
- ◆特別講演・シンポジウム：百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール（本部構内）
- ◆情報交換会：百周年時計台記念館・2F国際交流ホール（吉田南構内）



主催 京都大学高等教育研究開発推進センター

（本研究フォーラムは特別教育研究「大学教員教育研修のための相互研修型FD拠点形成」の一環です）

協賛 関西地区FD連絡協議会

※本プログラムは下記Web上で、PDF版を公開しています。
<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

第16回大学教育研究フォーラム

◆日程：2010年3月18日（木）～19日（金）

◆会場：京都大学 吉田キャンパス

【個人研究発表・小講演・ラウンドテーブル企画】 1号館／総合館（吉田南構内）

【特別講演・シンポジウム】 百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール（本部構内）

【情報交換会】 百周年時計台記念館・2F 国際交流ホール（吉田南構内）

3月18日（木）

受付 8：00～11：00 ……【1号館・共106】
12：30～13：00 ……【百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール】

個人研究発表（1） 9：00～10：45 ……【1号館／総合館】

9：00～9：20 個人発表①

9：20～9：40 個人発表② * 1人あたりの時間20分

9：40～10：00 個人発表③ (発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

10：00～10：20 個人発表④

10：20～10：45 全体討論

小講演（1） 11：00～12：00 ……【1号館】

特別講演／シンポジウム 13：00～17：00 ……【百周年時計台記念館・1F 百周年記念ホール】

開会の挨拶 13：00～13：10 松本 紘（京都大学総長）

特別講演 13：10～14：10

「大学教育の実践知を共有するーコミュニティ・ネットワーク・コモンズー」

松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

シンポジウム 14：25～17：00

「教える集団をどう組織するか」

報告者1 柳澤 康信（愛媛大学長）

報告者2 南木 睦彦（流通科学大学商学部教授・教育高度化推進センター長）

報告者3 根津知佳子（三重大学教育学部教授）

報告者4 義本 博司（文部科学省高等教育局高等教育企画課長）

司会 田中 每実（京都大学高等教育研究開発推進センター教授／センター長）

溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

情報交換会 17：30～19：30 ……【百周年時計台記念館・2F 国際交流ホール】

3月19日(金)

受付 8:30~13:30【1号館・共106】

個人研究発表(2) 9:00~10:45【1号館/総合館】

9:00~9:20 個人発表①

9:20~9:40 個人発表②

9:40~10:00 個人発表③

10:00~10:20 個人発表④

10:20~10:45 全体討論

* 1人あたりの時間20分

(発表時間15分+質疑応答3分+2分交代)

小講演(2) 11:00~12:00【1号館】

ラウンドテーブル企画 13:30~16:00【1号館/総合館】

MOST デモ

<https://online-tl.org>



大学教育研究フォーラムの開催期間中、MOST (Mutual Online System for Teaching & Learning: モスト) のデモをおこないます。デモ会場にて実際に MOST を試用することができますので、ご興味のある方は是非お越し下さい。MOST は招待制のサイトですが、期間中、登録希望者にアカウントを発行します。参加条件は、大学教員、将来大学教員を目指す大学院生です。

◆日時：2010年3月18日(木) 9:00~12:30、3月19日(金) 9:00~13:30

◆場所：1号館・共206

◆MOST について

MOST は、大学教員のためのオンライン上の教育研修の場として京都大学高等教育研究開発推進センターが構築したシステムです。カーネギー教育振興財団知識メディア研究所が開発した KEEP Toolkit を登録ユーザーが自由に利用できます。KEEP Toolkit で作成した授業改善や教育改善に関する「スナップショット」を、MOST 内のコミュニティで共有したり、成果を公開することができます。継続的な改善活動に結びつけることができます。



第1日(3月18日)

個人研究発表(1) 9:00~10:45

A-1. 教育評価研究部会

座長:南学 ……………【会場:総合館・共北32】

教育研究を担う任期制教員の現状と課題

佐藤龍子(静岡大学大学教育センター)

島根大学における数学補完授業の改善と効果検証

雨森 聡・森 朋子(島根大学教育開発センター)

古用哲夫・服部泰直(島根大学総合理工学部)

初年次教育を学士課程教育に位置づける物理分野カリキュラム・デザイン実験

—評価とFDの連動を視野に入れて—

森 朋子・雨森 聡・山田剛史(島根大学教育開発センター)

廣光一郎・山田容士(島根大学総合理工学部)

授業の評価から学びの評価へ—授業評価項目の改訂の過程—

南 学・中西良文(三重大学教育学部・高等教育創造開発センター)

B-1. カリキュラム研究部会

座長:大塚雄作 ……………【会場:1号館・共207】

学士力に対応した全学的初年次教育の展開③

—授業導入による大学生の適応、社会的スキルの変化の検討—

長濱文与・中島 誠・中山留美子(三重大学高等教育創造開発センター)

中西良文(三重大学高等教育創造開発センター・教育学部)

学士力に対応した全学的初年次教育の展開④

—修学達成度評価における受講生・非受講生の比較—

中島 誠・長濱文与・中山留美子(三重大学高等教育創造開発センター)

中西良文・南 学(三重大学高等教育創造開発センター・教育学部)

学士力に対応した全学的初年次教育の展開⑤

—修学達成度評価における導入前年度と初年度の比較—

中山留美子・中島 誠・長濱文与(三重大学高等教育創造開発センター)

中西良文・南 学(三重大学高等教育創造開発センター・教育学部)

文章表現科目の改革の結果に関する考察

—医学部初年次教育科目の改善を目指して—

三原祥子(東京女子医科大学医学部)・松本 茂(立教大学経営学部)

C-1. 授業研究部会

座長：西山宣昭 …………… 【会場：1号館・共208】

地域との協働による水圏環境コミュニケーション学実習

池田玲子（東京海洋大学海洋科学部）

心理学教育におけるミニマム・エッセンスとは何か

小杉考司・沖林洋平・恒吉徹三・福田 廣（山口大学教育学部）

学生による授業評価における満足度決定要因－授業改善を効率的に図るFD組織化に向けて－

杉田由仁・吉田文子・松下由美子（山梨県立大学看護学部）

科学リテラシー教育の授業設計－化学、細胞分子生物学を対象として－

西山宣昭（金沢大学大学教育開発・支援センター）

C-2. 授業研究部会

座長：澤田忠幸 …………… 【会場：1号館・共312】

私立大学におけるゼミナール活動に参加する学生の学びのプロセスの質的研究

－ゼミナール教育・研究における今後の課題と展望－

山田嘉徳（関西大学大学院心理学研究科）

地方国立大学における絶滅危惧研究種を巡る教養教育・専門教育の取組

小助川貞次（富山大学人文学部）

「大学ならではの」英語授業・英語学習とは？

金岡正夫（鹿児島大学教育センター）

愛媛県立医療技術大学における“初年次教育”の取り組み－目標と課題－

澤田忠幸・鳥居順子・草薙康城・鈴木光代・加藤徳雄・木下誠一（愛媛県立医療技術大学保健科学部）

C-3. 授業研究部会

座長：鈴木宏昭 …………… 【会場：1号館・共313】

日本人の心と姿－真善美の融合教育の試み－

小島 茂（静岡県立大学経営情報学部）

情報発信系演習における文脈的活動とキャリア教育としての意味付け

－短期大学における卒業研究セミナーの事例分析を通じて－

長田尚子・村田信行（清泉女学院短期大学国際コミュニケーション科）

リメディアル教育プログラム「物理駆け込み寺」

山田吉英・俵口忠功・前 直弘（立命館大学理工学部）

レポートライティングの問題設定において相互レビューは有効か

鈴木宏昭（青山学院大学教育人間科学部）

鈴木 聡（青山学院大学ヒューマンイノベーションリサーチセンター）

D-1. FD・授業公開研究部会

座長：木野 茂 ……………【会場：総合館・共北28】

ビデオ版ティーチングテップス集の開発

辻 高明（京都大学大学院情報学研究科）

学士課程教育の再構築に向けたFD活動の実質化－組織的FD活動と教育の質保証－

小川 勤・岩部浩三・吉田香奈（山口大学大学教育センター）

学生による授業評価は廃止すべき－学生参加型授業参観プロジェクトのすすめ－

吉田雅章（和歌山大学経済学部）

「学生FDサミット」－学生とともに進めるFD－

木野 茂（立命館大学共通教育推進機構）

D-2. FD・授業公開研究部会

座長：青野 透 ……………【会場：総合館・共北26】

体系的なFDプログラム開発の多様性とその認定問題（1）－ドイツにおけるFDプログラム事例－

Ulrike Nennstiel（北星学園大学社会福祉学部・大学院社会福祉研究科）

津田純子（新潟大学大学教育機能開発センター）

体系的なFDプログラム開発の多様性とその認定問題（2）

津田純子（新潟大学大学教育機能開発センター）

Ulrike Nennstiel（北星学園大学社会福祉学部・大学院社会福祉研究科）

学生主体型授業の開発を通じたFD

杉原真晃（山形大学基盤教育院）

大学院の教育力向上を主とした教職員職能開発（FD・SD）について

青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）

浅野哲夫（北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科）

林 透（北陸先端科学技術大学院大学企画課）・日水 栄（金沢大学学生部）

E-1. e-Learning・遠隔教育研究部会

座長：中島 平 ……………【会場：1号館・共311】

大学間・ライブ型・遠隔講義における学習環境の構築

吉村匠平（大分県立看護科学大学）

FD活動への利用と学習活動の分析を目的としたeラーニングシステムのデザイン

江木啓訓（東京農工大学総合情報メディアセンター）

尾澤重知・小津秀樹（大分大学高等教育開発センター）

大学教育における「クリッカー」活用の現状と可能性／限界

家島明彦（島根大学教育開発センター）

クリッカーによる即時フィードバックと授業映像を活用した大学院生向け授業トレーニングの実践

中島 平（東北大学大学院教育情報学研究部）

F-1. 大学生・大学生生活研究部会

座長：山田剛史 ……………【会場：総合館・共北31】

2種類のオープン・キャンパスと担当学生の役割

ーオープン・キャンパスで何が期待されているのかー

菅野憲司（千葉大学文学部）

プロセス・パフォーマンスとアイデンティティとの関連性

畑野 快（京都大学大学院教育学研究科）

授業外での活動に積極的に取り組む学生たちの特徴ーWAVOC 調査を通じてー

河井 亨（京都大学大学院教育学研究科）

転学を希望する学生とは誰か？ー「学生の多様化」を不適應学生の地平から捉えるー

山田剛史（島根大学教育開発センター）

小講演(1) 11:00~12:00

大学教育の国際化に伴う新たなFDの可能性 ……………【会場：1号館・共311】

中井 俊樹(名古屋大学高等教育研究センター准教授)

【司会】大塚 雄作(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

ICTを活用した汎用教育支援モデルと授業支援型ユーザインターフェイス ……【会場：1号館・共312】

冬木 正彦(関西大学環境都市工学部教授)

【司会】酒井 博之(京都大学高等教育研究開発推進センター特定准教授)

学士課程における英語語彙教育

－「京大術語彙データベース」を活用して－ ……………【会場：1号館・共207】

金丸 敏幸(京都大学大学院人間・環境学研究科助教)

田地野 彰(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

【司会】田地野 彰(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

未来のファカルティをどう育てるか

－京都大学文学研究科プレFDプロジェクトを事例に－ ……………【会場：1号館・共208】

田口 真奈(京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

出口 康夫(京都大学大学院文学研究科准教授)

赤嶺 宏介(京都大学大学院文学研究科教務補佐員)

【司会】田口 真奈(京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

特別講演／シンポジウム 13:00～17:00

会 場：百周年時計台記念館・1F百周年記念ホール

開会の挨拶 13:00～13:10

松本 紘（京都大学総長）

特別講演 13:10～14:10

「大学教育の実践知を共有するーコミュニティ・ネットワーク・コモンズー」

松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

シンポジウム 14:25～17:00

「教える集団をどう組織するか」

趣 旨

FDの法制的義務化以後、我が国では、広い範囲でFDが実施されており、なかには、たんなるアライバイ作りであることを超えて、日常的教育改善に資する実質的なFDも蓄積されてきています。しかしそれらには、本当に、投入された努力量に見合う十分な実効性があるのでしょうか。今日では、FDの広範囲な実施と蓄積に対して、しっかりとした評価が求められています。

FDの実施にこれまで以上の広がりと深さを求めようとするれば、ただゆったりと自生的活動が出現することに期待をかけ待っていてもだめなのかもしれません。期待することや待つことを超えて、FDの意識的な組織化が求められるかもしれないのです。しかしFDの意識的な組織化は、場合によっては、日常的教育改善を導くどころか、主体的努力を従属化し、主体性をないがしろにして、日常的教育改善をかえって妨げるかもしれません。

日常的教育改善を導くFDの組織化は、どのようになされるべきなのでしょうか。今回のシンポジウムでは、文教行政の立場からのFD組織化への期待をお聞きするとともに、これまで様々な仕方でFDの組織化を意識的に進めてこられた先進的事例を集めて、その経験に学びたいと考えています。実際にFDに関与している方々のこの議論への参加を期待します。

報告者1： 柳澤 康信（愛媛大学長）

報告者2： 南木 睦彦（流通科学大学商学部教授・教育高度化推進センター長）

報告者3： 根津知佳子（三重大学教育学部教授）

報告者4： 義本 博司（文部科学省高等教育局高等教育企画課長）

司 会： 田中 每実（京都大学高等教育研究開発推進センター教授／センター長）

溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

第2日(3月19日)

個人研究発表(2) 9:00~10:45

B-2. カリキュラム研究部会

座長:長尾博暢 ……………【会場:総合館・共北28】

初年次必修科目「共通基礎演習」の実践報告

吉岡昌紀(清泉女子大学文学部)

教員養成型PBL教育の課題と展望V-学びの履歴から照射される学生の変容-

根津知佳子・森脇健夫・中西康雅・松本金矢(三重大学教育学部)

高林朋世・前原裕樹(三重大学教育学研究科)・伊藤亜季(三重大学教育学部)

全学共通科目における金融経済教育の必要性

竹本拓治(京都大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)

「キャリア教育空白域」のキャリア教育科目-卒業前の4年生を対象とした取り組み-

長尾博暢(追手門学院大学経済学部)

C-4. 授業研究部会

座長:中西良文 ……………【会場:総合館・共北31】

大学生における「どうして」の発話意図と発話状況

福田 健(清泉女子大学文学部)

グループ発表の振り返りによって生じる内省について

鈴木敦子(桐朋学園大学音楽学部)

オーディエンス(聞き手・読み手)としての立場を重視した英語の自律的相互学習

原田康也(早稲田大学法学学術院)

大学教育を通じた大学教育目標への学生の認識の変化

中西良文・南 学(三重大学高等教育創造開発センター・教育学部)

C-5. 授業研究部会

座長:大島弥生 ……………【会場:総合館・共北32】

クリティカルシンキング教育を通じた書く力の養成

久保田祐歌(名古屋大学高等教育研究センター)

地域社会人を活用した教養教育-異なった視点からの見方・考え方への気づき-

大橋 眞・斎藤隆仁(徳島大学総合科学部・全学共通教育センター)

中恵真理子・光永雅子(徳島大学総合科学部)

資格取得を学習の動機づけとした情報リテラシー教育のパッケージ化

樋口勝一(神戸海星女子学院大学現代人間学部)

大学生の文章に見る問題点の分類と文章表現能力の指標づくりの試み

大島弥生(東京海洋大学海洋科学部)

D-3. FD・授業公開研究部会

座長：加藤由香里 ……………【会場：1号館・共313】

台湾「地域TA」によるTA制度の実践研究

杜 念慈（台湾・開南大学教学資源センター）

研究室のさらなる活性化を目指した「研究室運営ワーキンググループ」の実践

宮野公樹・可知直芳（京都大学大学院工学研究科）・岡本絵莉（東京大学大学院学際情報学部）

山本祐輔・辻 高明（京都大学大学院情報学研究科）

SAの自己省察を目的とした電子掲示板の活用状況に関する一考察

長瀬勇輝・遠海友紀（関西大学大学院総合情報学研究科）

岩崎千晶（京都外国語大学国際言語平和研究所）・水越敏行（大阪大学名誉教授・関西大学特別顧問）

授業改善のための教員相互参観システムの運用

加藤由香里（東京農工大学）・石川正敏（東京成徳大学）

D-4. FD・授業公開研究部会

座長：富田美加 ……………【会場：1号館・共208】

学生の主体的な学びを推進する授業改善—下位大学選択科目における試み—

清水 亮（三重中京大学現代法経学部）

山口大学共通教育における情報セキュリティ教育とFD活動の事例報告

小柏香穂理・市川哲彦・永井好和・赤井光治・刈谷丈治（山口大学大学情報機構メディア基盤センター）

糸長雅弘（山口大学大学情報機構・教育学部）

小河原加久治（山口大学大学情報機構メディア基盤センター・大学院理工学研究科）

情報系授業のためのTA研修会—プログラミング演習を例として—

小西達裕（静岡大学情報学部）・佐藤龍子（静岡大学大学教育センター）

医療系単科大学におけるFD活動のあり方

富田美加（茨城県立医療大学教育推進室）

阿部慎司・水上昌文・加納尚美・馬場 健・小山哲夫（茨城県立医療大学学長プロジェクト）

D-5. FD・授業公開研究部会

座長：藤原正敏 ……………【会場：1号館・共207】

ブレFDの現場から

井上 治・中村 健・三宅岳史（京都大学大学院文学研究科）

若手FD担当者の実態調査—他部局との連携という視点からの検討—

半澤礼之・田口真奈（京都大学高等教育研究開発推進センター）

杉原真晃（山形大学基盤教育院）・村上正行（京都外国語大学マルチメディア教育研究センター）

フィールドワーク教育における教員集団の意識改革

—滋賀県立大学環境フィールドワークIでの実践例から—

倉茂好匡（滋賀県立大学環境科学部）

TV会議システムやWEBを利用したFD活動

藤原正敏（仁愛女子短期大学）・坪川武弘（福井工業高等専門学校）

E-2. e-Learning・遠隔教育研究部会

座長：大森不二雄 ……………【会場：1号館・共312】

理系基礎教育と文系数学教育におけるeラーニング演習

千葉康生（東京工科大学コンピュータサイエンス学部）

大学教員のためのオンライン教育研修支援システム「MOST」

酒井博之・田口真奈・笹尾真剛（京都大学高等教育研究開発推進センター）

大山牧子（京都大学大学院教育学研究科）

グローバル教育戦略－eラーニング大学院の戦略として、教育内容として－

大森不二雄・渡邊あや（熊本大学大学教育機能開発総合研究センター）

竹内 愛（熊本大学大学院社会文化科学研究科）

F-2. 大学生・大学生生活研究部会

座長：及川 恵 ……………【会場：1号館・共311】

学生の職業興味に基づいた理学療法士養成教育

内田賢一・高木峰子・鈴木智高・川村博文（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）

Holistic Spaceとしての大学博物館－先端技術空間研究と和学事始め－

アッセマまどか庸代（南山大学人文学部）

大学生調査とキャリアワークショップの接続

－データをもとに大学生生活・将来をリフレクションさせる京都ノートルダム女子大学での試み－

溝上慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター）

須川いずみ・岩田真理子（京都ノートルダム女子大学）

学生生活における学業困難度と心理的適応との関連

及川 恵・大塚雄作・石川裕之（京都大学高等教育研究開発推進センター）

小川絢子（京都大学大学院教育学研究科）

小講演(2) 11:00~12:00

組織としての教育力—個人の名人芸で終わらせないために— …………… 【会場：1号館・共208】
高橋 哲也（大阪府立大学総合教育研究機構教授／学生センター副センター長）

【司会】溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

学士課程教育の日米比較 …………… 【会場：1号館・共311】
福留 東土（広島大学高等教育研究開発センター准教授）

【司会】大塚 雄作（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

これからの学生相談・学生支援に求められるもの …………… 【会場：1号館・共207】
高野 明（東京大学学生相談ネットワーク本部学生相談所講師）

【司会】及川 恵（京都大学高等教育研究開発推進センター特定准教授）

教務系職員のSDについて—組織から見た能力開発— …………… 【会場：1号館・共312】
山本 淳司（京都大学教育推進部共通教育推進課長）

【司会】田中 每実（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

学生とともに進めるFD 【会場：総合館・共北28】

- 企画：木野 茂（立命館大学共通教育推進機構）
話題提供：穴田 有一（北海道情報大学経営情報学部）
 館 博（東京農業大学短期大学部）
 大崎 雄二（法政大学社会学部）
 藤岡由美子（松本大学人間健康学部）
 梅村 修（追手門学院大学国際教養学部）
 服部 憲児（大阪大学大学教育実践センター）
 久保山 宏（九州大学教育改革企画支援室）
司 会：木野 茂（立命館大学共通教育推進機構）

学習成果をどう可視化するか？

－社会と大学をつなぐ学習成果情報のありかた－ 【会場：総合館・共北31】

- 企画：斎藤 聖子（独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部）
話題提供：斎藤 聖子（独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部）
 中畝菜穂子（新潟大学入学センター）
 三田地真美（教育ファシリテーション・オフィス）
 渡辺 茂晃（日経 HR 社）
 川角 博（学芸大学附属世田谷高校）
指定討論：小方 直幸（広島大学高等教育研究開発センター）
 杉本 和弘（鹿児島大学教育センター）
司 会：斎藤 聖子（独立行政法人大学評価・学位授与機構評価研究部）

授業情報保障の質的向上とネットワークの役割

－日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）の取組－

..... 【会場：1号館・共208】

- 企画：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）
話題提供：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）
 白澤 麻弓（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
 藤井 克美（日本福祉大学障害学生支援センター）
 星 かおり（関西学院大学教務部キャンパス自立支援課）
 中島亜紀子（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
指定討論：吉川あゆみ（日本社会事業大学社会事業研究所）
司 会：青野 透（金沢大学大学教育開発・支援センター）

基礎教育におけるeラーニング演習

—英語教育と数学教育の観点から— …………… 【会場：1号館・共312】

企 画：千葉 康生（東京工科大学コンピュータサイエンス学部）

話題提供：有田由紀子（茨城大学大学教育センター）

上田 敦子（茨城大学大学教育センター）

佐々木美帆（慶應義塾大学商学部）

千葉 康生（東京工科大学コンピュータサイエンス学部）

指定討論：曾我日出夫（茨城大学教育学部）

司 会：上田 敦子（茨城大学大学教育センター）

私立総合大学におけるカリキュラム改定の経緯と内容 …………… 【会場：1号館・共207】

企 画：北野 秋男（日本大学文理学部）

話題提供：北野 秋男（日本大学文理学部）

中村 順昭（日本大学文理学部）

椎名 正博（日本大学文理学部）

司 会：北野 秋男（日本大学文理学部）

科学教育第3波の展望—進化する大学教育に向けて— …………… 【会場：1号館・共313】

企 画：坂東 昌子（NPO 法人知的人材ネットワークあいんしゅたいん）

話題提供：鈴木 恒雄（KeP 取締役・金沢大学名誉教授）

小山田耕二（京都大学高等教育研究開発推進センター）

保田 充彦（NPO 法人知的人材ネットワークあいんしゅたいん・KK ズームス）

谷口 正明（名城大学総合数理教育センター）

喜多 一（京都大学学術情報メディアセンター）

司 会：坂東 昌子（NPO 法人知的人材ネットワークあいんしゅたいん）

学生・教職員と創る大学教育－FDの新発想－ …………… 【会場：総合館・共北32】

企画：清水 亮（三重中京大学現代法経学部）

橋本 勝（岡山大学教育開発センター）

話題提供：梶谷 拓史（専修大学入学センター）

押野谷康雄（東海大学工学部）

橋本 勝（岡山大学教育開発センター）

松本 茂（立教大学経営学部）

司会：清水 亮（三重中京大学現代法経学部）

批判的思考力を育てる

－学士力、ジェネリックスキルの認知的基盤－ …………… 【会場：1号館・共311】

企画：楠見 孝（京都大学教育学研究科）

話題提供：楠見 孝（京都大学教育学研究科）

道田 泰司（琉球大学教育学部）

沖林 洋平（山口大学教育学部）

武田 明典（神田外語大学外国語学部）

司会：子安 増生（京都大学教育学研究科）

参加方法等について

- ◆ 参加資格 大学教育関係者、もしくは大学教育に関心のある方。
- ◆ 参加費用 発表論文集等の資料代として1,000円を当日受付にて申し受けます。
- ◆ 参加申込の方法
次のいずれかの方法で、2010年2月12日（金）までに、
 1. 高等教育研究開発推進センターのHPの入力フォームから、オンラインで申し込む。
 2. 下記のFAX用フォームを使用し、FAXにて申し込む。
 3. 高等教育研究開発推進センターのHPより、FAX用フォームをダウンロードし、FAXにて申し込む。

センターHP：<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp>

FAX：075-753-6691 宛先：京都大学高等教育研究開発推進センター

- ◆ 情報交換会について
初日（3月18日）午後5時半より、百周年時計台記念館・2階国際交流ホールにて、講師の先生方を囲んで情報交換会を開催いたします（会費5,000円）。こちらも合わせて、お申し込みをお待ちしております。
会費は当日、受付にてお支払いください。

参加申込書（FAX用）

所 属	
職 名	
(ふりがな) 氏 名	
連絡先 (自宅・勤務先)	〒
TEL	
e-mail	
備 考	
情報交換会 (5,000円)	<ul style="list-style-type: none">● 参加する● 参加しない (注) キャンセルの方は、3月12日（金）までにご連絡下さい。申し込みをされて当日お越しにならない場合には、後日請求をさせていただきます。あらかじめご了承下さい。

会場地図



主な交通機関

地下鉄烏丸線・今出川駅より

市バス203系統「銀閣寺道・錦林車庫」行「百万遍」下車
市バス201系統「百万遍・祇園」行「京大正門前」下車

阪急・河原町駅、京阪・祇園四条駅より

市バス31系統「熊野・岩倉」行「京大正門前」下車
市バス201系統「祇園・百万遍」行「京大正門前」下車

京阪・出町柳駅より

市バス201系統「祇園・みぶ」行「京大正門前」下車
又は、東へ徒歩約20分

※自家用車でのご来場は、ご遠慮ください。